

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日（中間配当を行う場合）
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel 0120-232-711（通話料無料）
公告方法	電子公告 公告掲載URL http://www.mapple.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします)
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所
証券コード	9475



株式会社 昭文社

〒102-8238 東京都千代田区麹町三丁目1番地

<http://www.mapple.co.jp/>

お知らせ

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



株主の皆さまへ

第54期

年次報告書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで



海外旅行会話シリーズ
『ことりっふ会話帖』

旅先で使える音声会話アプリ付き



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。

株式会社 昭文社

株主の皆さまへ



株主の皆さまには、平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
当社の当期（第54期 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の事業活動をご報告申し上げます。

代表取締役社長

黒田 茂夫

■当期（第54期）の業績

当連結会計年度におけるわが国の経済は、前半は東日本大震災からの復興需要などを背景に回復の兆しが見えてきたものの、欧州経済の債務危機問題や円高の長期化、日中関係の悪化などにより景気の先行きは不透明な状況が続きました。その後、昨年末の政権交代以降、円安・株高が進行しましたが、低迷している個人消費が回復するまでには至りませんでした。

このような環境のもと、当社グループにおける当連結会計年度の業績は、出版事業において市販出版物、特に地図商品の売上が前連結会計年度の東日本大震災の復興における需要増加の反動やスマートフォン普及による地図アプリケーション利用者の増加により、大きく減少いたしました。これにより当連結会計年度の連結売上高は前連結会計年度比6.1%減少の146億38百万円となりました（前連結会計年度比9億48百万円減少）。

損益面におきましては、売上高の減少に加え、出版事業における新海外ガイドブックシリーズ『トラベルデイズ』創刊等に伴う原価高や出版物連動スマートフォン向けアプリケーションを多数提供したこともあり売上原価が増加したことにより、当連結会計年度の営業利益は2億72百万円（前連結会計年度比8億69百万円、76.2%の減少）と、前期実績を大きく下回る結果となりました。これにより経常利益は3億34百万円（前連結会計年度比7億69百万円、69.7%の減少）となっております。

特別損益では遊休資産の売却による固定資産売却益や保有有価証券の売却による投資有価証券売却益等の特別利益を計上し、税金等調整前当期純利益は5億84百万円となりましたが、一方で、退職給付会計における前払年金費用の発生の影響等による法人税等調整額1億78百万円を計上したことにより、当期純利益は前連結会計年度に比べ4億48百万円（55.6%）減少の、3億57百万円となりました。

■当期の配当

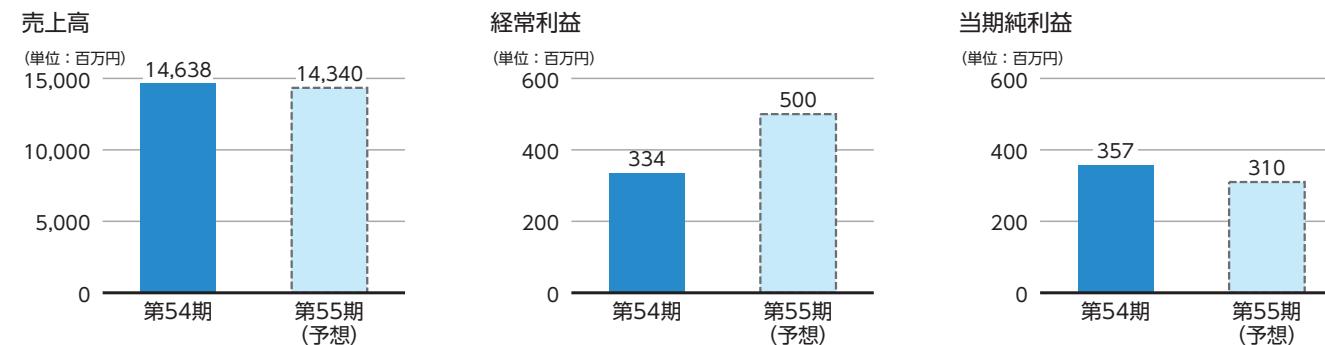
当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけており、利益配分につきましては会社の業績や経営環境を勘案しつつ、安定的な配当の継続を行うことを基本方針としております。当期の利益配当金につきましては、上記基本方針を考慮し、前期同様、普通配当を1株につき20円とさせていただきます。

■次期（第55期）の業績の見通し

近年、当社グループにおける従来の主力事業である出版事業では、依然として厳しい事業環境が続いておりますが、一方、電子事業ではスマートフォン等モバイルツールの普及拡大が急速に伸びており、新たなビジネスチャンスも多くなってきております。このような事業環境のもと、電子事業においては、『マップルナビ』がPND（簡易型カーナビゲーション）に加え車載カーナビ

ゲーションとしても採用されるなど拡大する予定であります。また利用者が急増しているスマートフォン向け、利便性の高いアプリケーション開発にも注力し、特に当社の出版物との連携を特徴とする多くのアプリケーションを提供することで、今後の新しい市場を築いてまいります。出版事業ではスマートフォン連携出版物を積極的に展開いたしますが、スマートフォンの普及や電子書籍の影響は大きく、厳しい状況が続くものと判断しております。収益面では地図商品の売上減少による影響は大きいものの、新ガイドブックシリーズ創刊当初の原価負担が軽くなるとともに、利益の減少要因である返品を減少させるべく、今まで以上に返品抑制戦略を徹底し、市場在庫の適正化を進め返品減少を実現してまいります。そのためには当社グループ保有のコンテンツの強化充実や新しいサービスを実現するための技術の研究が重要であると判断し、行ってまいります。このように、今後の当社グループにおける業績向上には電子事業の早期拡大及びそのための積極投資が欠かせないと判断しております。

このような方針のもと、次期の業績につきましては、売上高143億40百万円（前連結会計年度比2.0%減少）、経常利益5億円（前連結会計年度比49.4%増加）、当期純利益3億10百万円（前連結会計年度比13.4%減少）を見込んでおります。



■新たな企業理念および経営方針

電子媒体の普及など事業環境の変化に伴い、地図出版物は厳しい業績が続いておりますが、一方、「ことりっぴ」「マップルナビ」など旅やおでかけジャンルの事業は拡大しております。今後はこうした当社グループの新たな強みを活かし、「地図から旅へ」ビジネスの軸足を移し、積極的な事業展開を図るため、下記のとおり、新たな企業理念および4つの経営の基本方針を定めました。

社是

革新を追求

企業理念

旅でもっとつながる世界へ。
好奇心でもっと感じる世界へ。

経営方針

1. 旅行活動のトータルサポーターを目指します。
2. 旅やおでかけに寄り添うブランド価値を育成します。
3. “ローカリゼーション” “グローバルゼーション” を両立します。
4. 共鳴力と協働力を大切にします。

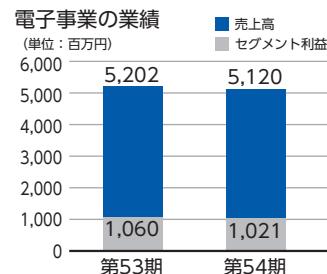
旅と好奇心で日本を元気にすること、旅を通じて紛争のない平和で豊かな世界を実現することを目指して、社会に貢献してまいります。株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

セグメント別の概況

※各セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高を含めております。

電子事業

- 売上高 **51億20**百万円 (前連結会計年度比1.6%減)
- セグメント利益 **10億21**百万円 (前連結会計年度比3.7%減)



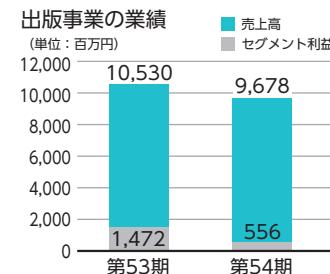
当連結会計年度におきましては、前連結会計年度に引き続き、ナビゲーション事業におけるPND（簡易型カーナビゲーション）向けアプリケーションソフト『マップルナビ』の売上は堅調に推移し、特殊要因により急成長を遂げた前連結会計年度と同等の売上を確保いたしました。また、東日本大震災の復興需要による官公庁の入力受注案件が増加するとともに、積極的に展開しているスマートフォン向けアプリケーションの売上も計上いたしました。

しかし一方で、前期実績にあるようなコンテンツ提供の大型案件が獲得できなかったことや携帯電話におけるコンテンツプロバイダからのロイヤリティ収入が減少いたしました。この結果、当連結会計年度における電子事業の売上高は51億20百万円となり、前連結会計年度に比べ81百万円（1.6%）減少いたしました。

損益面におきましては、さらなるデータ精度向上のためのコストを計上したことやスマートフォン向けアプリケーションの開発コストの増加等もあり、当連結会計年度における電子事業のセグメント利益は10億21百万円となりました（前連結会計年度比38百万円、3.7%の減少）。

出版事業

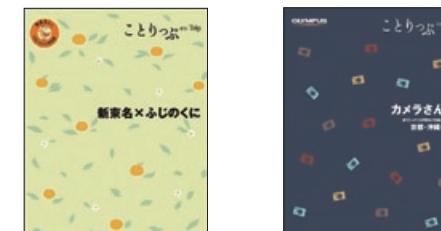
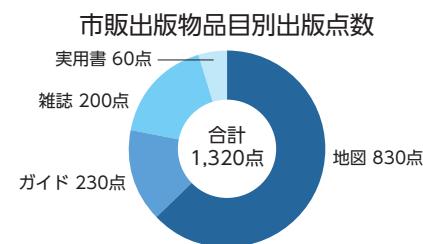
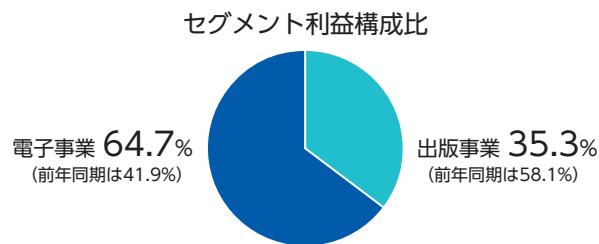
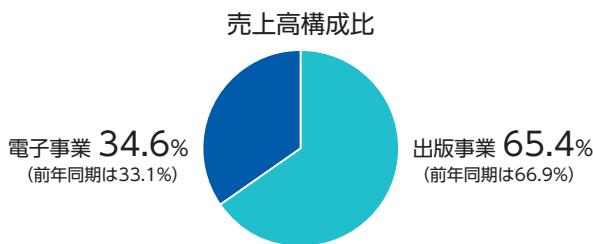
- 売上高 **96億78**百万円 (前連結会計年度比 8.1%減)
- セグメント利益 **5億56**百万円 (前連結会計年度比62.2%減)



市販出版物では、厳しい市場環境のもと、デジタル付録（海外版マップルリンク）の付いた新海外ガイドブックシリーズ『トラベルデイズ』（全16点）等の新シリーズを出版いたしました。また、人気シリーズである『ことりっぴ』（国内版、海外版）におきましては、そのブランドを活用し他社とのタイアップ商品を多数出版するとともに、11月には海外旅行に便利なスマートフォン用音声会話アプリ付き『ことりっぴ会話帖』シリーズも出版いたしました。これによりガイドブックの売上高は大幅に増加いたしました。しかし一方で、前連結会計年度には東日本大震災復興需要で堅調に推移していた地図商品の売上高は、その反動やスマートフォン普及に伴う地図アプリケーション利用者の増加もあり大幅に減少いたしました。

広告収入におきましては、多くのタイアップ企画を獲得できたこともあり増加いたしました。特別注文品におきましては、多くの地方自治体・観光協会や各企業が紙媒体での情報提供から電子媒体での提供へと移行していることもあり大きく減少いたしました。この結果、当連結会計年度の出版事業の売上高は96億78百万円となり、前連結会計年度に比べ8億52百万円（8.1%）の減少と大きく落ち込む結果となりました。

損益面におきましては、新海外ガイドシリーズ創刊に伴う原価率の上昇や地図商品の売上減少による影響や、数多くの改訂商品を出版する第4四半期における返品が想定より多く発生したこと等により売上原価の水準が高めに推移したこともあり、当連結会計年度における出版事業のセグメント利益は5億56百万円と前期実績を大きく下回る結果となりました（前連結会計年度比、9億16百万円、62.2%の減少）。



『ことりっぴ』タイアップ企画

トピックス

旅先で使えるスマートフォン用音声会話アプリ付き『ことりっぷ会話帖』

20～30代の女性に“等身大の旅”を提案する『ことりっぷ』は、累計発行部数が800万部に達した、女子旅の定番ガイドブックです。この『ことりっぷ』ユーザーに向け、女性の旅ならではのシーン別に、旅先で使いたいフレーズをまとめた旅会話本『ことりっぷ会話帖』が発売されました。「雑貨や靴を買いに行ったら…」「おいしいスイーツが食べたい」「ネイルサロンに行ったら…」など、女子旅特有のシーン別に多数のフレーズが収録されています。

本書の特長は、ご購入者の特典として、デジタル付録「スマートフォン用音声付き会話アプリ」が無料でご利用いただける点にあります。本書掲載と同じ会話フレーズを、旅先で、音声付でご利用いただけます。

旅行前は本書で予習、旅先ではアプリで便利にコミュニケーションをすることができます。

現在のラインナップは「英語」「韓国語」「中国語」「ベトナム語」「タイ語」「イタリア語」「フランス語」「スペイン語」「ドイツ語」の9点です。

アプリの特長

● 女子的フレーズをシーン別に展開

「ショッピング」「グルメ」「ビューティー」などシーン別の構成。アプリでは「女子力アップ」というカテゴリーもあり、旅先で女子力を高めるフレーズや、コスメショップ、エステなどで伝えたいフレーズをご紹介します。

● 旅先で使いたい便利な音声付

使いたいフレーズをタップすると、音声付で翻訳します。旅行前の学習にも、現地で気持ちを伝えたいときにも便利です。

● お気に入り登録

本やアプリをチェックして“使いたい”と思うフレーズがあれば、お気に入りとして登録可能。旅先では「お気に入り登録一覧」からフレーズを音声付で表示させることができます。



フランス語



中国語



お気に入り登録一覧 (イタリア語)

こどものための情報地図『地図で知る 世界子ども図鑑/日本子ども図鑑』

近年の小学校社会科教育では、これからのグローバル社会に向け、社会的事象に関心をもって多面的・多角的に考察することや、資料・地図の読解力・考察力の育成、日本の伝統・文化の理解とともに世界的な視野を身につけることなどに重点が置かれています（文部科学省の「新学習指導要領」より）。

一方でカーナビゲーションの普及の影響もあってか、自分が出かけた場所がどこか説明できない、またはニュースなどで世界の地名を聞いても、頭の中に地図を描けない子どもが増えているといった声も聞かれます。

そこで、当社は、「社会を理解するための考察力」や「グローバル時代を生きる広い視野」をはぐくむための“こどものための情報地図帳”として『地図で知る世界子ども図鑑』『地図で知る日本子ども図鑑』を制作しました。

● 地図で知る世界子ども図鑑

世界の小学校、スポーツ、乗り物、昆虫といった、子どもたちの好奇心に応える身近な分野から、世界を動かす政治、産業、環境問題まで、世界の“今”を知るための事柄をピックアップして紹介しています。

● 地図で知る日本子ども図鑑

乗り物、スポーツなどの身近なテーマから、都道府県対抗！ランキング、驚異の自然災害、日本の世界遺産、国を動かす政治まで、さまざまな事柄を厳選して紹介しています。



連結財務諸表

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表（要旨）

(単位：百万円)

科 目	第53期	第54期
	平成24年3月31日現在	平成25年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,070	16,269
固定資産	17,910	17,526
有形固定資産	9,350	9,189
無形固定資産	6,116	5,538
投資その他の資産	2,443	2,798
資産合計	33,981	33,795
負債の部		
流動負債	4,488	3,910
固定負債	1,026	1,233
負債合計	5,515	5,143
純資産の部		
株主資本	28,266	28,300
資本金	9,903	9,903
資本剰余金	10,708	10,708
利益剰余金	8,179	8,213
自己株式	△524	△524
その他の包括利益累計額	199	351
純資産合計	28,466	28,652
負債純資産合計	33,981	33,795

連結貸借対照表のポイント

有形固定資産

サーバ、車両運搬具などの設備投資があったものの、償却が進んだため1億61百万円の減少となりました。

無形固定資産

データベース、のれんの償却の進行や投資額の減少などを要因として、5億78百万円の減少となりました。

流動負債

支払手形及び買掛金が1億33百万円、短期借入金が59百万円、未払費用が1億92百万円それぞれ減少したことなどによって、5億78百万円の減少となりました。

固定負債

長期借入金は37百万円減少しましたが、退職給付会計における前払年金費用の計上などによる繰延税金負債の増加が2億2百万円あり、2億7百万円の増加となりました。

純資産

剰余金の配当で3億32百万円の減少があった一方、当期純利益3億57百万円の計上、その他有価証券評価差額金の1億58百万円の増加などもあり、純資産合計は1億86百万円増加し、286億52百万円となりました。

自己資本比率

自己資本比率は1.0ポイント増加し84.8%となりました。

連結損益計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	第53期	第54期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
売上高	15,586	14,638
売上原価	10,217	10,065
返品調整引当金繰入差額	△132	40
売上総利益	5,501	4,531
販売費及び一般管理費	4,360	4,259
営業利益	1,141	272
営業外収益	67	94
営業外費用	105	32
経常利益	1,104	334
特別利益	5	269
特別損失	89	19
税金等調整前当期純利益	1,019	584
法人税等合計	213	226
当期純利益	806	357

連結損益計算書のポイント

売上高は地図出版物の売上減少を主な要因として、前連結会計年度比6.1%減少の146億38百万円となりました。営業利益は、売上高減少の影響を受けるとともに、新刊ガイドブックの出版などに伴う売上原価の増加があり、前連結会計年度比76.2%減少の2億72百万円となりました。保有資産の売却などによる特別利益2億69百万円の計上などを受けて、当期純利益は前連結会計年度比55.6%減少の3億57百万円となりました。

連結株主資本等変動計算書 連結会計年度：平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位：百万円)

	株主資本		その他の包括利益累計額				純資産合計		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金		為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計
平成24年4月1日期首残高	9,903	10,708	8,179	△524	28,266	193	6	199	28,466
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△332		△332				△332
当期純利益			357		357				357
持分法の適用範囲の変動			8		8				8
自己株式の取得				△0	△0				△0
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）						158	△6	152	152
連結会計年度中の変動額合計	—	—	34	△0	33	158	△6	152	186
平成25年3月31日期末残高	9,903	10,708	8,213	△524	28,300	351	—	351	28,652

財務諸表の詳細は当社ホームページでご覧いただけます。

URL <http://www.maple.co.jp/corporate/ir/>

連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

(単位：百万円)

科 目	第53期	第54期
	平成23年4月1日から平成24年3月31日まで	平成24年4月1日から平成25年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,666	1,081
投資活動によるキャッシュ・フロー	△483	△771
財務活動によるキャッシュ・フロー	△395	△493
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	787	△183
現金及び現金同等物の期首残高	7,874	8,662
現金及び現金同等物の期末残高	8,662	8,479

連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億81百万円の収入となりました。主な要因は税金等調整前当期純利益5億84百万円、減価償却費及びその他の償却費13億円によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、7億71百万円の支出となりました。主な要因は定期預金の預入による支出1億円、有形・無形固定資産の取得による支出6億79百万円によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、4億93百万円の支出となりました。主な要因は配当金の支払い3億32百万円によるものです。

株式情報 (平成25年3月31日現在)

株式の状況

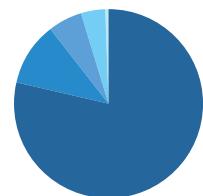
発行可能株式総数	57,000,000株
発行済株式の総数	17,307,750株
株主数	23,348名

大株主 (自己株式を除く上位10名)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
黒田 敏夫	3,574	21.49
黒田 茂夫	1,699	10.22
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社 (信託口)	836	5.02
昭文社社員持株会	623	3.75
株式会社三井住友銀行	347	2.08
CBNY-DFA INVESTMENT TRUST COMPANY- JAPANESE SMALL COMPANY SERIES	299	1.79
株式会社 ファウンダー・マップル	180	1.08
株式会社エムティーアイ	174	1.04
応用地質株式会社	160	0.96
株式会社三菱東京UFJ銀行	123	0.74

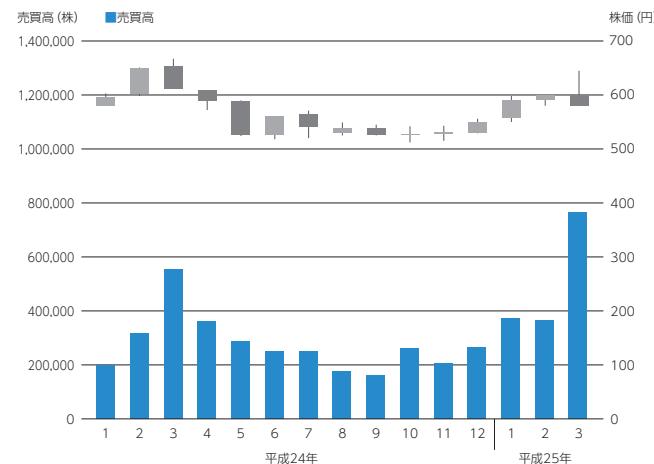
※持株比率は自己株式 (679,064株) を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



所有者区分	持株比率 (%)
個人・その他・自己名義	78.7
金融機関	10.9
その他の法人	5.8
外国法人等	4.1
金融商品取引業者	0.5

株価と株式売買高の推移



会社情報

会社概要 (平成25年3月31日現在)

商号	株式会社昭文社 (Shobunsha Publications, Inc.)																				
創業	昭和35年5月																				
本社所在地	東京都千代田区麹町三丁目1番地																				
資本金	99億387万円																				
従業員数	単体374人、連結502人																				
事業内容	SiMAPを中核とし、それを活用した地図・雑誌・ガイドブックの企画・制作及び出版販売を行う「出版事業」、ならびにデジタルデータベースの企画・制作・販売及びそれらを活用したサービスを提供する「電子事業」を展開																				
事業所	<table> <tr> <td>本社</td> <td>東京都千代田区</td> </tr> <tr> <td>大阪支社</td> <td>大阪市淀川区</td> </tr> <tr> <td>制作本部</td> <td>東京都江東区</td> </tr> <tr> <td>仙台営業所</td> <td>仙台市若林区</td> </tr> <tr> <td>横浜営業所</td> <td>横浜市西区</td> </tr> <tr> <td>名古屋営業所</td> <td>名古屋市千種区</td> </tr> <tr> <td>福岡営業所</td> <td>福岡市中央区</td> </tr> <tr> <td>東京商品センター</td> <td>東京都足立区</td> </tr> <tr> <td>大阪商品センター</td> <td>大阪府摂津市</td> </tr> <tr> <td>埼玉製本センター</td> <td>埼玉県加須市</td> </tr> </table>	本社	東京都千代田区	大阪支社	大阪市淀川区	制作本部	東京都江東区	仙台営業所	仙台市若林区	横浜営業所	横浜市西区	名古屋営業所	名古屋市千種区	福岡営業所	福岡市中央区	東京商品センター	東京都足立区	大阪商品センター	大阪府摂津市	埼玉製本センター	埼玉県加須市
本社	東京都千代田区																				
大阪支社	大阪市淀川区																				
制作本部	東京都江東区																				
仙台営業所	仙台市若林区																				
横浜営業所	横浜市西区																				
名古屋営業所	名古屋市千種区																				
福岡営業所	福岡市中央区																				
東京商品センター	東京都足立区																				
大阪商品センター	大阪府摂津市																				
埼玉製本センター	埼玉県加須市																				

株主優待のご案内

当社では、当社の事業についてより深くご理解いただきたく、株主優待制度として、平成25年3月末日現在、100株以上ご所有の株主様に3,000円相当の当社商品を進呈しております。
 本年は株主様のお届出住所に該当する地域の『スーパーマップル』シリーズを1冊お送りいたします。
 なお、一部地域にお住まいの株主様には他の地図をお送りすることがありますので、ご了承ください。
 株主優待品は7月中の発送を予定しております。

株主優待品の発送についてのお問い合わせ

株主優待事務局 (平成25年9月末まで)
 0120-770-383 (受付時間 9:00~17:00/土・日・祝日を除く)

役員 (平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	黒田 茂夫
取締役	大野 真哉
取締役	内田 次郎
取締役	熊谷 隆司
取締役	清水 康史
常勤監査役	渡邊 裕
監査役*	関 聡介
監査役*	桑野 雄一郎

*社外監査役

関係会社 (平成25年3月31日現在)

キャンバスマップル株式会社
東京都千代田区
[事業内容]
カーナビゲーション用地図ソフトウェアの開発・企画制作・販売
株式会社マップル・オン
東京都千代田区
[事業内容]
モバイル (携帯・スマートフォン) 向けアプリケーションソフトの企画開発・販売及びWeb広告事業
株式会社昭文社デジタルソリューション
千葉県市原市
[事業内容]
マッピング・Webサービス事業及びシステムソリューション事業



道路地図の定番「スーパーマップル」